

令和4年度天皇杯受賞者受賞理由概要
水産部門

チーズと燻製数の子を組み合わせた新感覚の数の子製品

○氏名又は名称 井原水産 株式会社（代表者 井原 慶児）

○所在地 北海道留萌市

○出品財産物（水産加工品）

○受賞理由

・地域の概要

留萌市は、北海道北西部に位置し、地図上の形状からハート形のまちとも呼ばれている。西部は日本海に面し、ニシン、ホッケ、カレイ類、タコ、ナマコなどが漁獲されている。水産加工業を基幹産業とし、全国一の数の子の産地である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

井原水産株式会社は、昭和29年に鮮魚出荷問屋として創業し、昭和42年から数の子事業を開始、国内の数の子製造のトップメーカーとしての歴史を誇る。留萌市に本社工場、小樽市に支社工場を有し、従業員数は183名である。CSR活動として、環境保全、ボランティア、地域共生の3分野を推進。特に環境保全分野では、山から河川を通じて海への鉄分等供給を目指して国有林への植林を行うなど、林野庁の「法人の森林制度」に参加している。

・受賞者の特色

（1）数の子の固定観念を外した斬新なタイプの製品

数の子は、お正月の「おせち商品」という強い固定観念があるが、日常でも食べられる手軽な食材にするというコンセプトのもと、商品化した製品である。チーズと燻製数の子を組み合わせた北海道発マリアージュの贅沢で新感覚のおつまみである。

（2）環境に配慮した製造

原料の数の子は、規格外のものや切れ子など数の子製品にできないものも使用し、資源の有効利用を図っている。出品財の製造工程で出た規格外品は、廃棄せずにプレツェルのような別のお菓子に加工している。包装材は、FSC認証済み資材を用い、包装材への印字は、植物由来のバイオマスインキを使用している。

※FSC認証：持続可能な森林活用・保全を目的とした「適切な森林管理」を認証する国際的な制度

・普及性と今後の発展方向

従来の固定観念にとらわれない製品化や、数の子の栄養機能性に着目した取組は、消費者の伝統食品に対する認知を高め、水産物消費拡大に貢献するものである。また、環境や社会に貢献する様々な取組は他の関連企業を先導する活動となっている。